

## “就活生”に届け！NPO 法人 FOCUS が考える“内定をゴールにしない”就活！



こんにちは！コレクティブふくおか+事務局です。

コレクティブふくおか+の「中高生の人生設計」チームが、社会課題の解決に向けて取り組んでいるNPO 法人 FOCUS 理事長 園田さんと学生運営の山本さんにインタビューした内容を記事にまとめてくれました。ぜひ、ご一読ください。

みなさん、就活生と社会人が働き方やキャリアをテーマに交流しあい、内的キャリアの形成を支援するNPO 法人 FOCUS をご存じでしょうか。

そもそも、“内的キャリア”という言葉を知って、ナニソレ？と疑問に思った人もいます。

まず、キャリアという言葉、調べると何かとややこしいのですが、実はキャリアというものは外的キャリア、内的キャリアの2つに分けることができます。

簡単に定義を説明すると、『外的キャリアとは、他人からも見えるキャリア、履歴書に記入できる情報』『内的キャリアとは、自分の価値観、興味関心、得意な能力で構成される、やりがいや働きがい』などを指します。

今回は、NPO 法人 FOCUS 理事長の園田さんと FOCUS 学生運営の山本さんにインタビューを行いました。このNPO 法人 FOCUS では、学生運営の方が主体となって開催されるキャリア交流会を通じて、“内的キャリア”の醸成による「内定をゴールにしない就活」をサポートしています。そんなお二人にインタビューすることで、人生のカギになりそうな考えを知ることができました。

みなさんがこの記事を読んで、就活もしくは現在のキャリアがより良い方向に転換し、自分の納得のいく人生を歩むきっかけになれば幸いです。

## 【活動の根底にあるのは「内定をゴールにしない就活」】

就活はどこがゴール？と聞かれたら、私は“内定”でしょ、と100点満点自信たっぷりの回答をしたいと思います。

では、さっそくですが、学生運営の山本さんに、FOCUSの「内定をゴールにしない就活」とは？についておうかがいしました。

山本さん「私自身もそうですが、多くの学生さんは就活サイトに登録して、そこベースでの就活を始めてしまいます。webの情報ばかりに頼る就活では、会社の規模や待遇を強く意識してしまいます。しかし、本当の就活は、内定を取った後、社会人としての生活がスタートしたときに、どういう働き方(生き方)をしていきたいのか？そういう働き方をするためにはどういう企業(組織)を選んでいけばいいのか？そういう企業(働き方)で働くためにはどんな就活をしていけばいいのか？を考えられること。そのためには、もっとリアルな社会を知る必要があって、学生たちは社会人と交流することが必要ではないかと考えています。

そこで、FOCUSでは、就活生・社会人のキャリア講習交流会というのを月に1回福岡県内で開催しています。

会の趣旨としましては、“内定をゴールにしない就活”を目指すことです。

テーマは私たち自身が疑問に思っていることや、社会人に聞いてみたいことなど、毎月異なりますが、“内定をゴールにしない就活”という考えをベースに、社会人と就活生が本音でキャリアについて語り合える場を提供したいという想いのもと開催しております。」

たしかに！就活中に社会人の本音を聞ける機会って貴重ですね。社会人の本音を聞くことで、就活生の理想と現実のギャップが少なくなりますよね。

FOCUS 理事長の園田さんに理想と現実ギャップが発生する現状についておうかがいしました。

このギャップの原因はなんだと思いますか？

園田さん「3年以内の離職率が高いのも、入社前後でギャップがあるからこそ生じていると思っています。なんで学生が入社したときにギャップを感じるのだろうっていうのを考えると、就職した先の人生や働き方をデザインしていないから。年収や休日日数、福利厚生などの条件でしか会社を判断できていない。だから入ってみて思っていたのと違うというのが生じると思います。

キャリア交流会では採用などとは関係ないリアルな社会人と交流でき、働くことの大変さや、実はこういう夢のためにこういう仕事をしているというような本音の部分、内側の部分を話してもらうことでリアルな社会人を知る。

自分だったらこういう道がいいな、こういう社会人になりたいな、逆にこういう人は自分の理想や希望とは違うなというのを想像していくことで、そのギャップは埋まっていくのではないかと思います。」

働くことのリアルを話してもらうことで、就活生は内的キャリアについて考えることができ、自分の中で生じる理想と現実とのギャップを埋めることができるのですね。

内的キャリアについて初めて知ることができましたが、そもそも、なぜ内的キャリア支援の活動をしようと思ったのでしょうか。

園田さん「以前、会社組織で働いていたときに、派遣会社の人材コーディネーターという仕事をしていたんですよね。

派遣で働くことって今こそメジャーだけど、当時私が人材コーディネーターとして働いていたのは、派遣という働き方が規制緩和により進んできたくらいするとき。

だから、フルタイムで働けないような人たちが派遣に登録に来ていたんですね。

そこで私は人材コーディネーターとして、そういった人たちのキャリアの棚卸をし、職業能力の可視化をして、オファーがきたクライアント企業とマッチングさせていく、というような仕事をしていました。

クライアント企業からは、スキルや経験に加えて、忙しいときは残業してほしいとか繁忙期の休日出勤をお願いしたいですってというようなオーダーが来るんです。そういった時に、フルタイムで働けないような時間の制約がある人たちを紹介できないんですよ。せっかく能力も経験もあつたりするのに。

そういう時間の制約で働けない人たちがたくさんいることを目の当たりにしたときに、能力や経験を軸に自律したキャリア形成ができていたら、時間の切り売りでの働き方にはならないんじゃないかと思ったのがきっかけなんです。」

素晴らしい能力やスキルを持っていても、会社の要求時間と自分の時間が不一致の場合、その会社で働けない...もったいないことだと思います。

だからこそ、自律した己のキャリア形成が必要なのですね。

### 【キャリアのプロ、園田さんが考えるキャリアとは。】

FOCUS ではキャリアという言葉を外的キャリア、内的キャリアの2つに分けて、その中でも”内的キャリア”をテーマにイベント開催をしています。

ここで、FOCUS 理事長の園田さん流、“内的キャリア”についておうかがいしました。

園田さん「キャリアって色んな定義があつて、これが正解ですよと言うつもりはないんです。ただ、考え方の1つとして“客観的な側面を持つ外的キャリア”と“主観的な側面を持つ内的キャリア”に分けられます。

外的キャリアは、学歴や職歴、資格など履歴書に書けるもの。

私たちが FOCUS の活動を通して行っていることは、“内的キャリア”を醸成させていくことです。

内的キャリアには3つの要素があります。1つは自分の興味関心＝やっていきたいことや好きなこと。2つ目は能力とか才能＝できることやできるようになったもの、生まれ持ってできること。3つ目は価値観＝自分が働くうえで、生きていくうえで大事にしたいことなど。この3つの要素が内的キャリアを構成していると考えています。」

園田さんに内的キャリアの定義を教えてくださいました。

みなさんはどう思いましたか？

私は、内的キャリアを就職活動中の自分に考えてみて、と言われても、余裕がなく目を背けてしまいそうな要素だなと感じました。内的キャリアの前に、お給料のことやそもそも内定をもらえるかどうか目が行くと思われそうです。

だけど、園田さんのお話から内的キャリアに目を向けることは間違いではないし、キャリアに対する自分の認識に余裕を持つうえでも、内的キャリアというのはとても重要なのかなと思いました。

内的キャリアを明確にするには、自分のことを深掘りしていく必要がありますね。

自分のことを深く知るためにはどうしたらいいのでしょうか。何かコツはありますか。

**園田さん「極端な話なんだけど、例えば生まれた時から自分の部屋を出てきたことのない20歳の子は、自分のいいところや自分のできることに気付かないと思います。**

**逆に言うと、人と比べることで私こういうことできないなとか、私こういうことできるなとか、気付くことが出来ると思います。自分を知るためにはやっぱり外を知らない。自分のことを知ろうと思っても、自分とばかり向き合っているだけでは自分のことはわからないと思うんです。なのでまずはいろんな人と接してみ、自分の姿を見つめ直すことが重要かもしれません。」**

とてもわかりやすい例でしたね。園田さんは内的キャリアを考える上で、自分が何をやりたいのかを言語化することが大事なのだとおっしゃっていました。

外を知ること、他を知ることによって自己理解を深めることができるとのことでした。



## 【キャリア支援のこれからと園田さんの思い】

FOCUS 理事長の園田さんや運営をしている山本さんは、どんなことに意識を持ちながら運営をしているのでしょうか。

まずは、学生運営の山本さんにキャリア支援イベントでの創意工夫をおうかがいしました。

山本さん「自分たちがこれをやっておけばよかった、これを知っておけばよかったと思うことをテーマにしたら面白い会ができるのではないかなと想像しています。

自分が疑問視していることや不安に思っていることがあって、だから社会人に話を聞きたいんだ！みたいな感じで会を開催したほうが学生の満足度も高いし、コンテンツの内容として充実したものができていると思います。

やはり自分から出てきたものをイベントのテーマにするのは面白い会ができる秘訣なんじゃないかなって思っています。」

運営者ならではの視点でした。たしかに、自分が疑問に思っていることって意外と他の人も同じように思っていることがありますよね。

次に FOCUS 理事長の園田さんに、私たちがどのようなイベントを開催したらいいかについて、おうかがいしてみました。

園田さん「思い切って“10 年後ってどういう世の中になるんだろうか”と、クリエイティブにイメージを膨らませて考えてみるといいのかなと思います。

こういう世の中になっていくとするならば、何が必要なのかっていうのを考えていく。じゃあ、自分はどういうことを今やっていこうかというところに考えが及んでくるのかなと。」

面白そうですね。ぜひやってみたいです。他の人の意見も知れて、ワクワクしそうです。

日々、キャリアについて熱い思いを持っておられる園田さんに、FOCUS の活動における今後の方向性についておうかがいしました。

園田さん「今後、“この活動はなくなったほうがいいと思っている”んですよ。

FOCUS 自体がなくなることが理想なのかなと思っています。

私たちの最終的なビジョンには“いきいきと生活できる社会創り”というものが含まれていますが、現状そうではないことが多いのでこの活動は必要なわけです。

だとすると目指すのはこの活動が発展するのではなく収束していく、もっと言うとなくなればいいなと思ってるんです。」

園田さんは、NPO 法人 FOCUS の終わりを考えられているとのことでした。

社会問題に取り組む人たちが増えてきましたが、社会問題を解決した後を考えることはなかったのが、衝撃でした。

NPO 法人 FOCUS では、自分の大切にしていた思い、つまり内的キャリアに関わる要素に気づかず、実際に働いてから自分の思いとのギャップに気が付いたという方と触れ合う機会が多かったからこそ、この活動をしています。

そして、内的キャリアの概念から自分と向き合うことは重要だという思いがあるからこそ、この活動がなくなればいいなと思っていると話して下さったのだと考えています。

### 【結び】

今回は、FOCUS 理事長の園田さんと学生運営の山本さんのお二人にインタビューをしました。

私自身、新しい気づきがたくさんあり、また自分の思う理想を実現できるように追い求めていってもいいのだと思うことができました。

内的キャリアとはとても深い内容でしたね。私はインタビューの場で「あなたの内的キャリアはなんですか？」と聞かれましたが、咄嗟に答えることはできませんでした。でも、今なら言える気がします。

もちろん、外的キャリアも大事ですが、自分の本音と向き合うことも大事だと思います。

きっと自分を深掘りし続けていくことで素敵な人生を歩めるのではないのでしょうか。



### 【中高生の人生設計チーム】

Miusaurusu(大学生)・つっちー(大学生)・ぞえ(大学生)・くら(大学生)

取材日：2021年12月13日